

日本万国博覧会記念公園シンポジウム2025

新たなレガシー

——2025年大阪・関西万博を後世へ



写真提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

2025.11.8 (土) 13:30-16:30 (開場13:00)

会 場 国立民族学博物館

みんぱくインテリジェントホール(講堂)

定 員 350名(会場参加)

参加費 無料

参加方法 ①会場 要事前申込、先着順
②オンライン(ライブ配信) 予約不要

申込受付期間

2025年9月1日(月)～10月31日(金)

オンライン(ライブ配信)は、当日千里文化財団のWEBサイトより無料でご視聴いただけます。

申込・イベント詳細

https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2025/



主催：公益財団法人千里文化財団 共催：大阪府、国立民族学博物館 協力：国立大学法人大阪大学、公益財団法人大阪日本民芸館、大阪モノレール株式会社、公益財団法人関西・大阪21世紀協会、万博記念公園マネジメント・パートナーズ 後援：NHK大阪放送局、公益社団法人関西経済連合会、吹田市

2025年大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、世界各国・地域の人が集い、多様な価値観を共有する国際的な協力と対話の場となっています。本シンポジウムでは、このような万博の成果を一過性のものに終わらせることなく、今後の社会において活用可能な形でどのように継承していくかについて、多角的に考察します。具体的には、万博を通じて生まれた人と人とのつながりや対話、共創のプロセス、さらにはパビリオンの再活用に見られる資源循環型の取り組みに着目します。また、1970年の大阪万博のレガシーも参照しながら、有識者が意見を交わし、持続可能で開かれた社会の実現に向けた国際的な協力関係や連携の在り方について検討するとともに、2025年大阪・関西万博がもたらし得る新たなレガシーについても議論します。

2025. 11. 8 (土) 13:30-16:30(開場13:00)

国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール(講堂)

プログラム

13:30	主催者挨拶 中牧 弘允 千里文化財団理事長
13:35	挨拶 関 雄二 国立民族学博物館長
13:40	報告1「COMMONS(共同館)における協働・共創とその成果」 吉田 憲司 国立民族学博物館 名誉教授、前館長 大阪・関西万博シニアアドバイザー
14:00	報告2「テーマ事業『いのちを高める』(『いのちの遊び場 クラゲ館』)の 多様ないのちをつなぐ旅路の振り返りとその先へ」 中島 さち子 大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー
14:20	報告3「大阪・関西万博とこれから」 岩田 泰 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 運営統括室長
14:40	報告4「建築というきっかけ」 永山 祐子 建築家
15:00	休憩
15:15	パネルディスカッション パネリスト 吉田 憲司、中島 さち子、岩田 泰、永山 祐子 ファシリテーター 佐野 真由子 京都大学大学院教授
16:30	閉会

登壇者プロフィール



吉田 憲司 Yoshida Kenji
国立民族学博物館名誉教授、前館長。大阪・関西万博シニアアドバイザー。専門は博物館人類学、アフリカ研究。仮面結社と儀礼、美術館や博物館における文化表象について研究をおこなう一方、その成果を反映した展示活動を国内外で展開している。著書に『仮面の世界をさぐる——アフリカとミュージアムの往還』(臨川書店)、『文化の「発見」——驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで』(岩波書店)など。



中島 さち子 Nakajima Sachiko
大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー。音楽家・数学研究者・STEAM教育者。株式会社 steAm 代表取締役、一般社団法人 steAm BAND 代表理事。音楽数学教育とともにアート&テクノロジーの研究を進める。クラゲ館に関する著書に、絵本『クラとそうぞうの木』(ひかりのくに)、『いのちの遊び場 クラゲ館の挑戦』(青春出版社)など。



岩田 泰 Iwata Yasushi
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会運営統括室長。2009年から2012年まで経済産業省博覧会推進室長として、2010年上海万博、2012年麗水万博への日本政府参加を担当。論考に「国際博覧会の歴史に博覧会国際事務局(BIE)が果たした役割」(佐野真由子編『万博学——万国博覧会という、世界を把握する方法』思文閣出版)など。



永山 祐子 Nagayama Yuko
建築家。青木淳建築計画事務所を経て2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事に「豊島横尾館」「ドバイ国際博覧会日本館」「東急歌舞伎町タワー」、大阪・関西万博「ウーマンズ パビリオン」と「パナソニックグループパビリオン『ノモの国』」など。著書に「永山祐子作品集 建築から物語を紡ぐ」(グラフィック社)、『建築というきっかけ』(集英社新書)。



佐野 真由子 Sano Mayuko
京都大学大学院教授。専門は外交史・文化交流史、文化政策。万博学研究会代表。国際交流基金、UNESCO本部勤務のち、国際日本文化研究センター准教授等を経て、2018年より現職。著書に「万博学——万国博覧会という、世界を把握する方法」(編著、思文閣出版)、『幕末外交儀礼の研究——欧米外交官たちの将軍拝謁』(思文閣出版)など。

お申込について

■会場参加…………… 定員350名、要事前申込、先着順
・参加費：無料
・定員：350名。代表者を含め2名様までお申し込みいただけます。
・受付期間：2025年9月1日(月)～10月31日(金)
※手話通訳が必要な方は、9月30日(火)までにお申し込みいただき、その旨お知らせください。

■オンライン(ライブ配信)…………… 予約不要
当日、千里文化財団WEBサイトのイベント詳細ページより無料で視聴いただけます。

申込方法

会場参加につきましては、下記イベント詳細ページ内の受付フォームよりお申し込みください。

千里文化財団 WEBサイト
イベント詳細・受付フォーム

https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2025/



※電話でのお申込【会場参加のみ】
次の必要事項をお知らせください。
①イベント名 ②代表者氏名(漢字、ふりがな)
③参加人数(代表者を含む2名様まで)④電話番号(代表者のみ)

申込先

万博記念公園シンポジウム2025事務局(千里文化財団内)
sympo2025@senri-f.or.jp
TEL: 06-6877-8893(土日祝日を除く9:00-17:00)

国立民族学博物館のご利用案内

- 開館時間…………… 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日…………… 水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日が休館)
- 観覧料…………… 一般780円/大学生340円/高校生以下 無料
※本館展示、特別展のご見学には観覧料が必要です。
特別展示観覧料、観覧料割引についてはみんなくWEBサイトでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール…………… 「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分
- バス…………… 阪急茨木駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
※本シンポジウムにご参加の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。同園内を無料で通行できます。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

ご来館のみなさまへ

諸事情により予定を変更する場合があります。事前にWEBサイトでご確認ください。

国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
<https://www.minpaku.ac.jp/>

